

令和7年度

成果発表 鳥取市への提言



とっとり若者地方創生会議
Tottori Youth Regional Revitalization Conference

目次

- ▶ 1 - はじめに
- 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

01

はじめに

本会議の活動目的や今年度の活動内容について

01



発足式

【重点テーマ】



若者の定住



まちのにぎわいづくり

【委員メンバー】

市内委員・市外委員

大学生・大学院生・社会人の計13名で活動

会議 2時間

24回 実施

5月27日（火）に鳥取市役所市民交流センターにて発足式を行い、年間を通して24回会議を実施。

今年度は市外委員の参加に伴い、対面とオンラインのハイブリッド形式。





とっとり若者地方創生会議

Tottori Youth Regional Revitalization Conference

1. 鳥取砂丘の風紋（新しい波・流れ）と円・輪（繋がり・10周年）を基調としたデザイン
2. 人型モチーフを配置（丸を頭として腕を広げて肩を組んでいるイメージ）
3. 砂丘の上にラクダを配置（より直感的に砂丘ということを伝えるため）
4. 青系（海）、緑系（自然）、茶系（砂丘）の組み合わせ

目次

- 1 - はじめに
- ▶ 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

02

明治大学の学生との交流

明治大学生との交流活動について

02

明治大学学生派遣プログラムでの交流活動

- 7月：鳥取市に関する合同勉強会(オンライン)
- 8月：鳥取市での交流活動
- 駅前商店街の散策
 - 用瀬町での交流
- 明治大学学生派遣プログラム中間報告
- 10月：明治大学学生派遣プログラム成果報告会
(オンライン)



鳥取駅周辺を散策している様子

駅前商店街の散策

- 鳥取市の取組に関するレクチャー
- 駅前商店街のまちあるき

鳥取市内で実際に行われている取り組みを教えていただいた後、
駅前の商店街を2グループに分かれて散策しました。
散策の後は駅前の宿泊&ごはんのY Pubで交流会をしました。



用瀬での交流活動

- 用瀬の施設での宿泊
- 「用瀬ビンゴ」を通した用瀬の魅力発見

明治大学生とオリジナルゲームをしながら用瀬を散策し、
地域の方と交流したり、都市部との違いを探したりして、用瀬の魅力を発見しました。

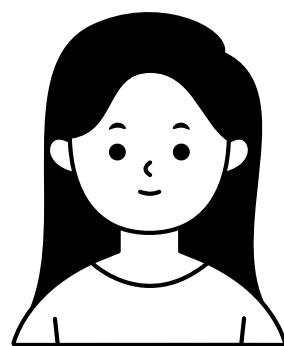


中間報告会（※対面参加）

8月25日(月) 13:30～14:30

成果発表会（※オンライン参加）

10月29日(水) 10:00～11:30



【感想・学んだこと】

短い滞在期間の中で、鳥取市の魅力を多く発見していただきました。県外の若者に鳥取市の情報発信をするために、若者視点で細かい面まで考えてくださっていました。

目次

- 1 - はじめに
- 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- ▶ 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

03

インスタグラムでの発信

今年度の活動報告と提言

03

本会議のアカウント



友達に聞いて
みよう...

とっとり若者地方創生会議

87	336	59
投稿	フォロワー	フォロー中

市役所
とっとり若者地方創生会議のメンバーが、会議の活動の様子や鳥取市の魅力を発信していきます！🌟
#鳥取市 #鳥取 #地方創生
www.city.tottori.lg.jp/www/genre/14739...

30 回投稿

投稿内容

- 会議内容
- 明治大学生との交流
- ワークショップ

2026年3月1日現在

- ①表紙
- ②写真の掲載方法
- ③ストーリーの活用



03

変更点② 「写真の掲載方法」



03

変更点③ 「ストーリーの活用」

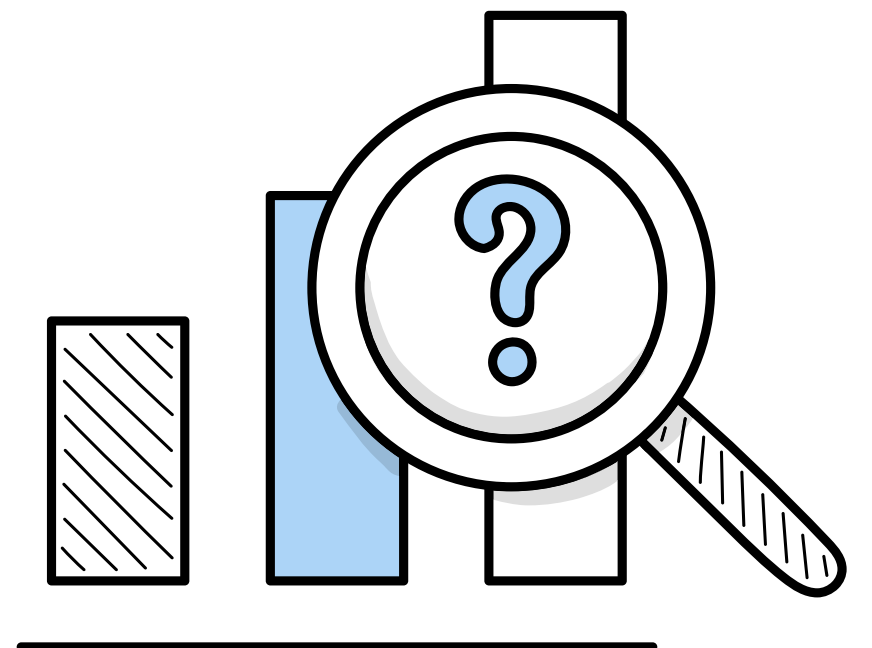


- 新規投稿のお知らせ
- イベント開催までのカウントダウン
- 会議の様子

- **インサイトの活用**

インスタグラムの分析ツールであるインサイトを活用して、
閲覧数やリアクション数などをチェック

➤➤➤ **より効果的な発信が可能になる**

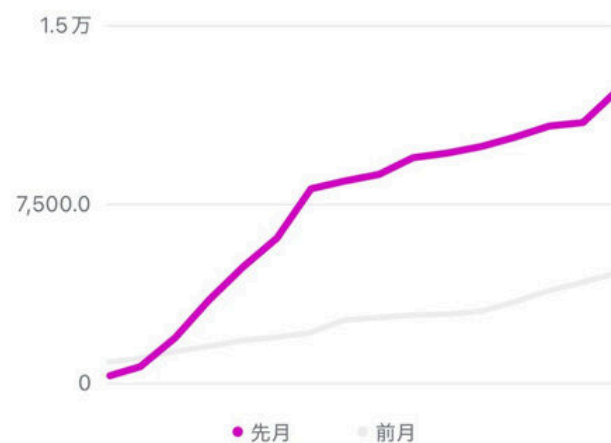


月ごとのまとめなど

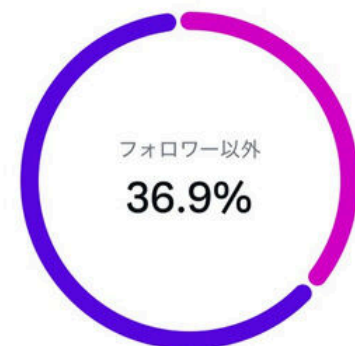
閲覧数は上昇しています

あなたのリール動画と投稿の閲覧数は、前月と比べて165%増加しました！コンテンツに注目が集まっています。

先月のリール動画と投稿の閲覧数



あなたは前の月よりも、投稿を8本多くシェアしました。そのことが閲覧数の増加につながりました。



- フォロワー以外 36.9%
- フォロワー 63.1%

あなたは新しい視聴者層を開拓しています

合計閲覧数572件のうち、フォロワー以外の人による閲覧は36.9%でした。新しい人があなたのコンテンツを見つける機会があったため、今後フォロワーが増える可能性があります。



最近、フォロワーが最もアクティブだったタイミングがこちらです

フォロワーへのリーチに最適なタイミング

水曜、6～9 PM
水曜、9 PM～12 AM
木曜、6～9 PM



この投稿は注目されています

この投稿の閲覧数は706件であり、先月シェアした他のあらゆるコンテンツを上回っています。

閲覧数

計4.2万回

※2025年7月より

フォロワー

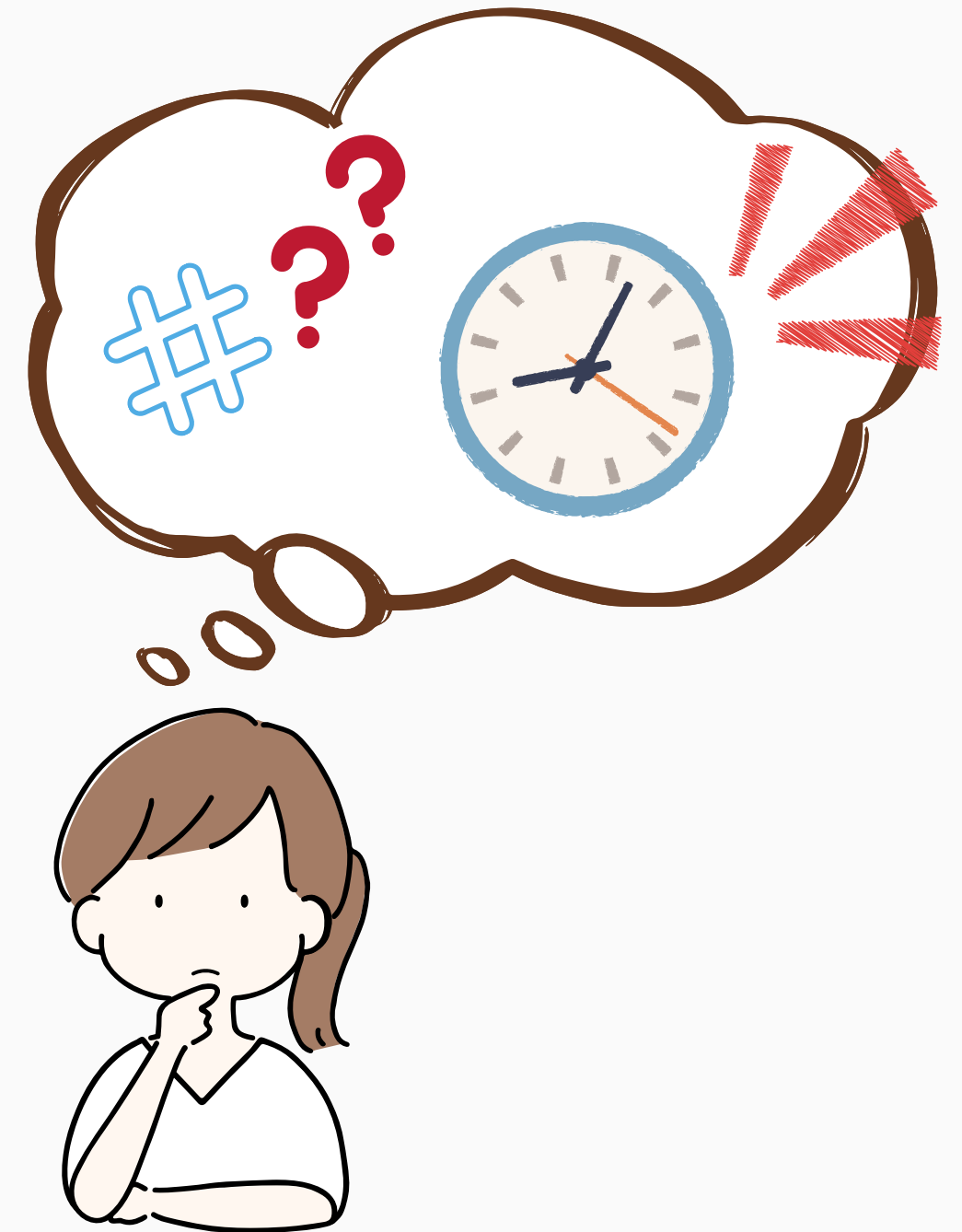
126人増加

※2025年3月比較

- 若者会議の周知 (フォロワー数の増加)
- 若者視点で発見した魅力の発信
(投稿の表紙の写真等)

提言 1 「AIを活用したSNS運用」

- 投稿時間や使用するハッシュタグが決まっていない
 - フォロワーの活動時間に合わせた投稿
 - より多くの人に届くハッシュタグの抜選
- 投稿やキャプションのフォーマットがない
 - 写真の配置を揃えて一覧で見やすい投稿の作成
 - キャプションの定型文の作成



・ AIにより閲覧数、リアクション等を分析

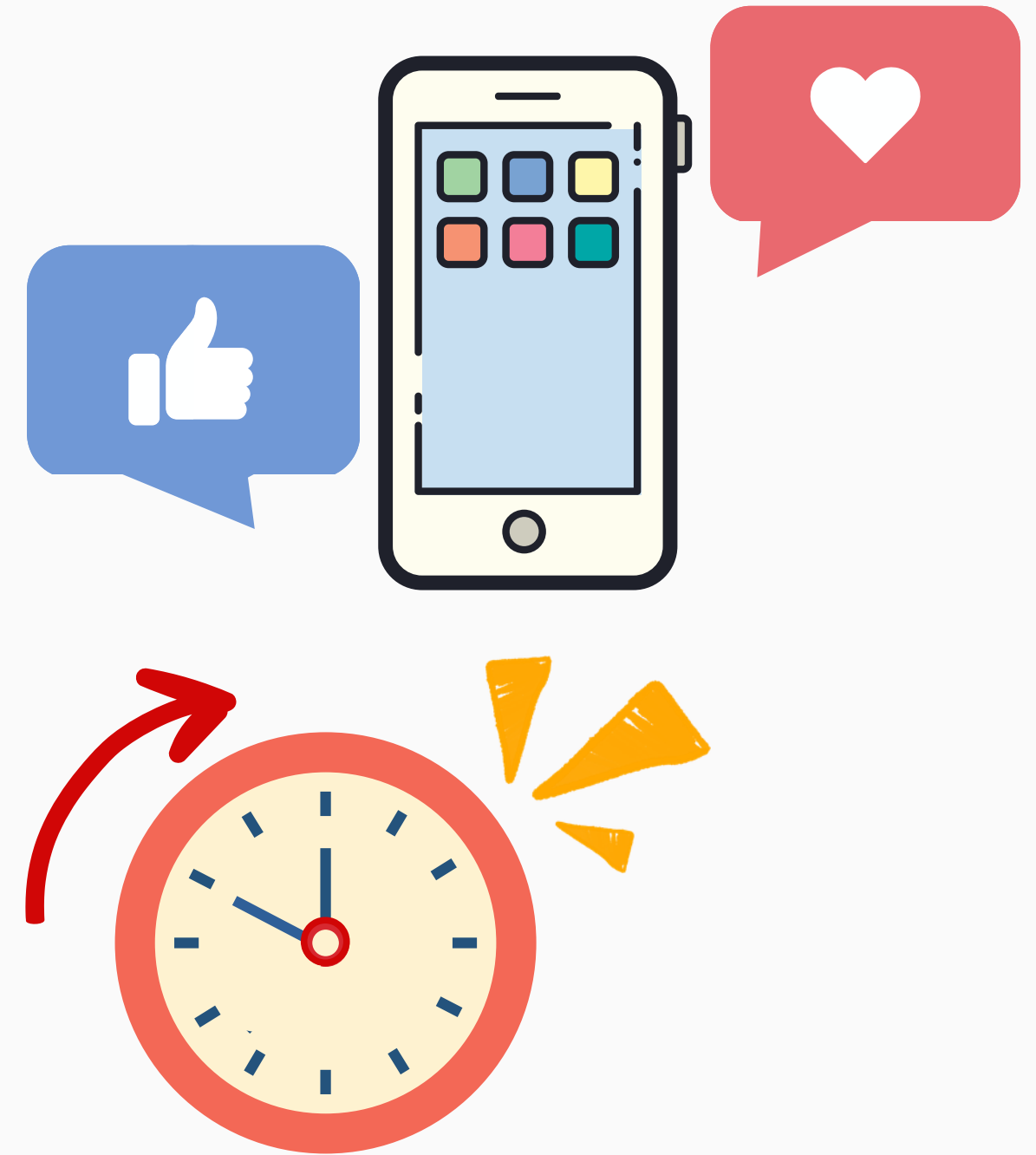
→何をきっかけに「いいね」を押すのか

いつSNSをチェックするのか

・ フォーマットの作成

→毎回の投稿時、変わらない部分の作業短縮

統一感のある投稿



提言 2 「SNSを活用した若者の 滞在型観光の促進」

鳥取市に訪れる観光客の特徴（令和5年観光客入込動態調査結果より）

- ・ 県内や関西など比較的近隣地域からの観光客が多い
- ・ 日帰り観光客数が約8割を占めている

⇒鳥取市への経済効果が少ない

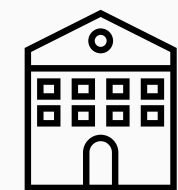


SNS

- ・ 若年層の情報収集の中心であり、インフラの一部になりつつある
- ・ 同世代の「リアル」な体験が共感を呼びやすい

◇一方で無関心層へのリーチが課題





鳥取市

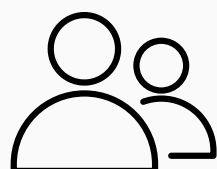
募集

クーポン配布

登録者に対して、鳥取市の飲食店やアクティビティ、宿泊施設で利用できる割引クーポンを配布する。

投稿

動画に問題がないことを確認し、専用アカウントにて投稿する。また、再度訪れた時に利用できるクーポンを配布し、再訪を促進する。



若者

登録



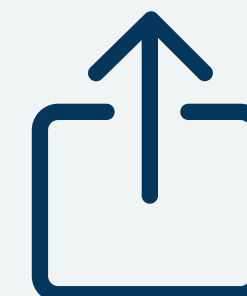
体験



動画作成



送信



拡散



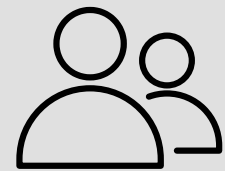
旅行前に専用サイトから登録を行い、鳥取市内の飲食店等で利用できる割引券や宿泊クーポンを受け取る。

クーポンを活用しながら、鳥取市観光を楽しむ。

体験を1分ほどの動画にまとめる。

作成した動画を登録サイトから送信する。

投稿された動画を再投稿するなどして、自分のフォロワーにも発信する。



若者

★ターゲット

18歳以上～25歳未満の市内在住者も含む若者

★メリット

- ・気軽に鳥取市を訪れることが出来る
- ・体験を記録し、発信できる

▶ 「リアル」な発信を受け取ることが出来るため、旅の参考にしやすい。



鳥取市

★メリット

- ・同世代の「リアル」な声を届けることで、行政アカウントへの固いイメージを持つ無関心層へのリーチを広げやすくなる。
- ・鳥取市内の滞在型観光の促進
- ・情報発信に係る負担の軽減

目次

- 1 - はじめに
- 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- ▶ 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

04

関係人口の創出

今年度の活動報告と提言

04

背景

若者会議では地域の担い手育成として「関係人口の創出」に向けた議論を**3年前から積極的に**行ってきた。

「進学や就職で鳥取市を転出した人々」がどのように鳥取市と関わりを持ち続けるのかを議論の中心に据えている。

「ふるさと住民登録制度」の創設について

- 「地方創生2.0」の実現に向けた取組として、「関係人口」に着目し、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」の創設に向けて検討中。
- 「関係人口」の地域との関わり方には、消費活動等による地域経済への貢献や、ボランティアや仕事を通じた地域の担い手としての貢献など、それぞれのスタイルに応じた様々な形がある。
- できるだけ多くの方々に地域を応援していただけるよう、誰もがアプリで簡単・簡便に登録でき、また自治体の既存の取組を緩やかに包含できるような柔軟かつ間口の広い仕組みの構築を目指す。

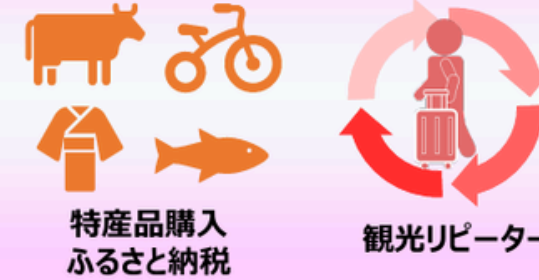
目指す姿のイメージ



ふるさと住民アプリ
(登録証表示)



地域経済の活性化



地域の担い手確保



ふるさと住民への情報提供や
行政サービス等の提供

地域への貢献

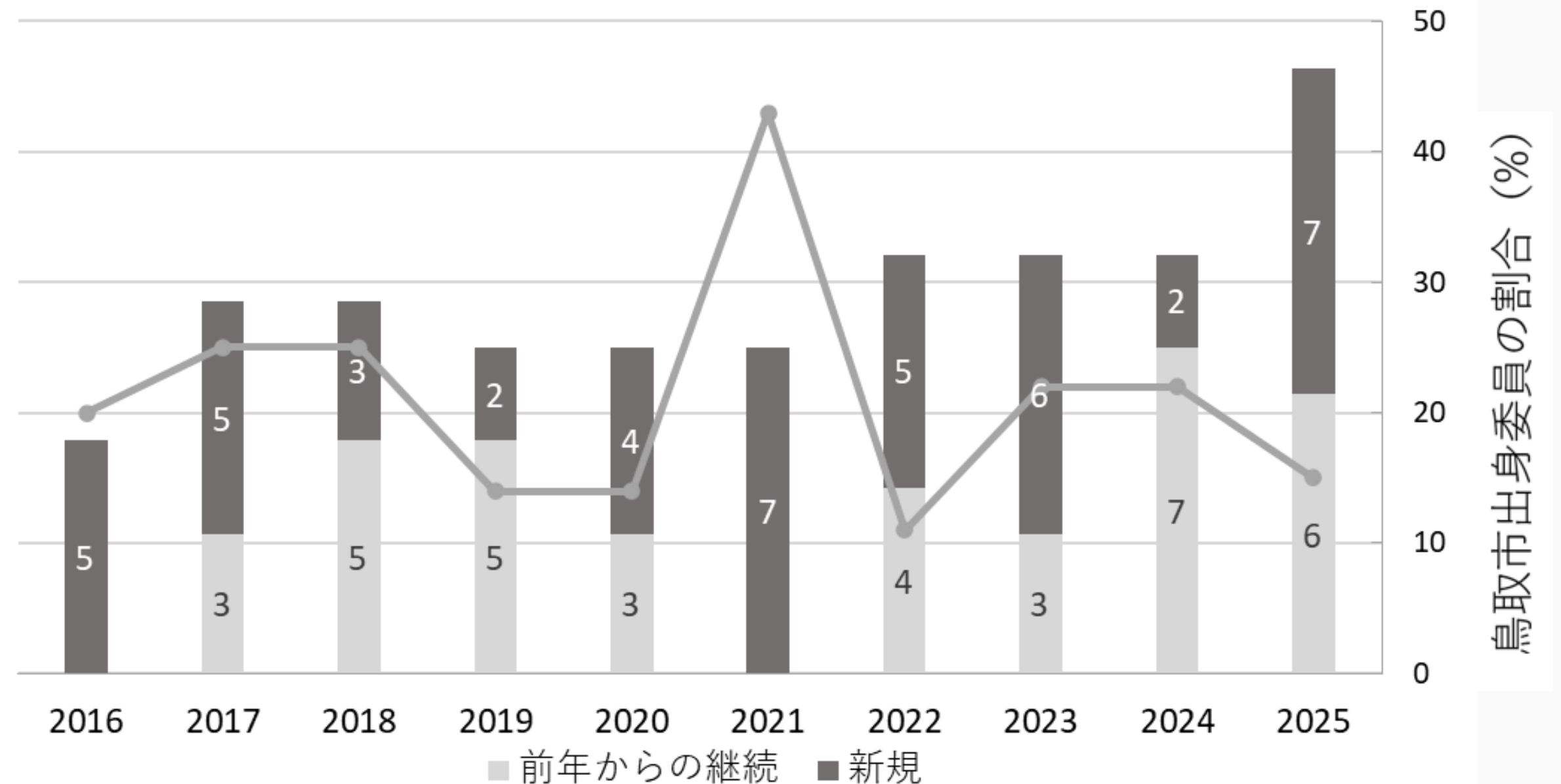


背景

本会議においても、進学や就職に伴い委員が活動を続けられないケースが多い。

会議そのものが「住民」「非住民」という二元論に縛られていたといえる。

とっとり若者地方創生会議における委員数の推移



流れ

令和5年度

若者会議から「とっとり若者地方創生会議の委員条件の緩和」を提言

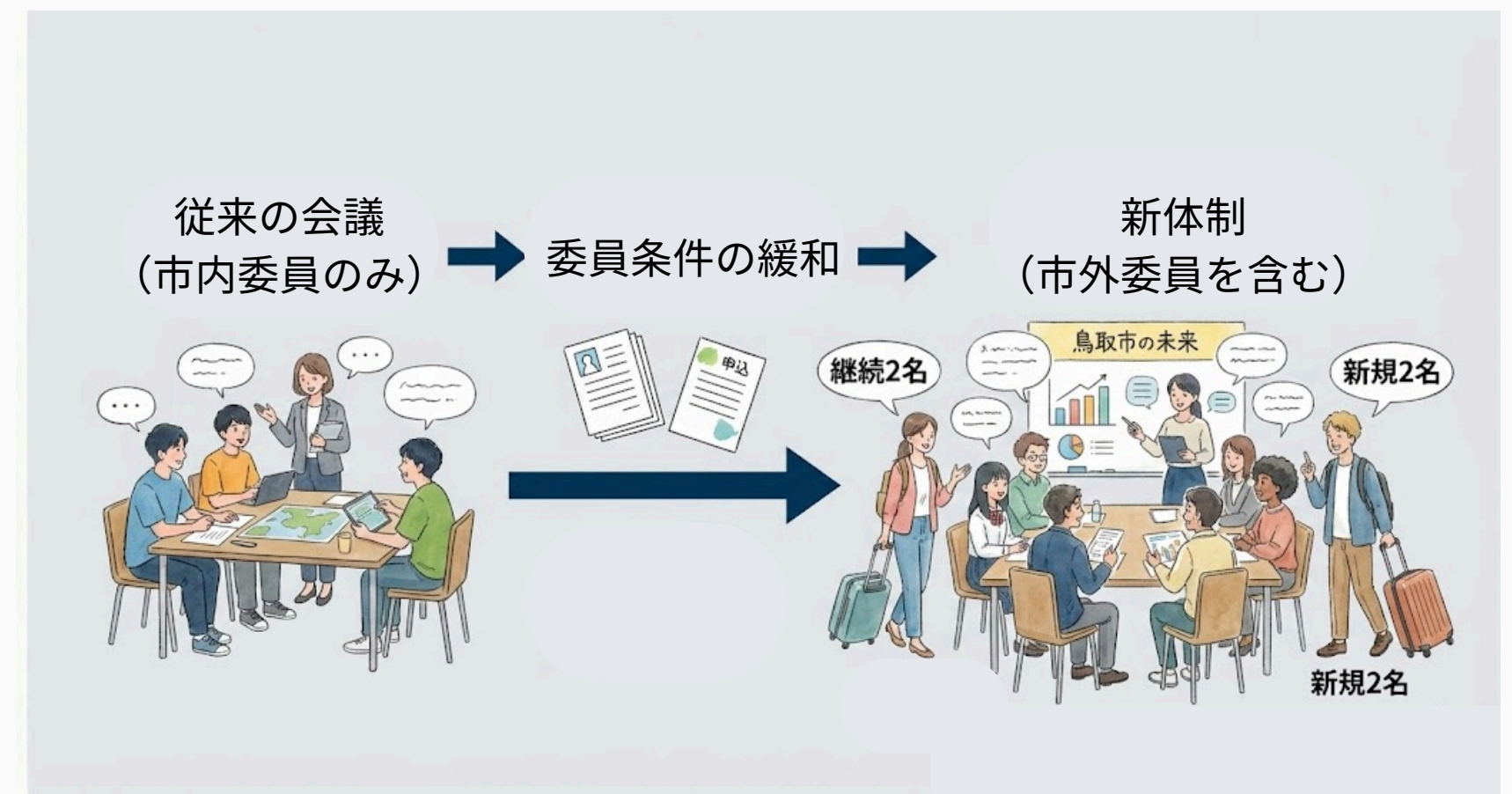
令和6年度

提案内容を元に次年度の委員条件に「鳥取市内に居住したことがある」が追加される

令和7年度

市外委員4名（継続2名、新規2名）を加えた会議がスタート

イメージ



年間を通しての気づき

これまで、関係人口は実態の把握が難しく構造的な課題が見えにくかった。
本会議に所属する市外委員は「**把握された関係人口**」として、実際に感じた課題をもとに政策を提言していくことが可能である。

令和7年度 市外委員

委員①	鳥取県鳥取市出身	28歳	会社員	神奈川県川崎市	新規	※高校まで鳥取市、就職で転出
委員②	兵庫県たつの市出身	23歳	会社員	鳥取県米子市在住	継続	※大学で鳥取市へ、就職で転出
委員③	岡山県玉野市出身	23歳	学生	兵庫県神戸市在住	新規	※大学で鳥取市へ、大学院で転出
委員④	鹿児島県西之表市出身	23歳	学生	福岡県福岡市在住	継続	※大学で鳥取市へ、大学院で転出

流れ

令和5年度

若者会議から「高校生を対象としたワークショップの開催」を提案

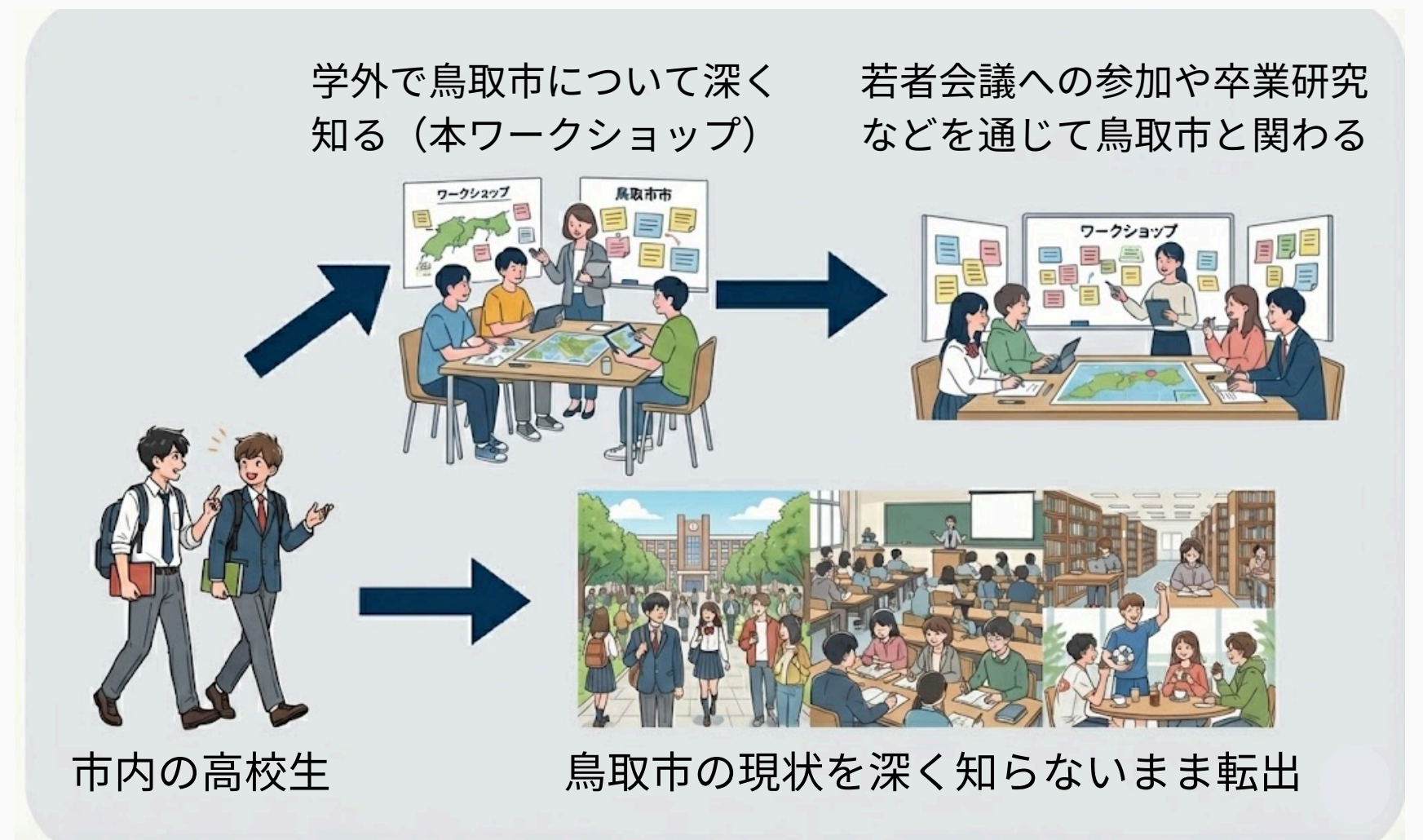
令和6年度

提案内容を元に若者会議主催で「高校生が考える輝く未来のワークショップ」として実現

令和7年度

内容に改善を加え「第2回 高校生が考える輝く未来のワークショップ」を開催

イメージ



第2回 高校生が考える輝く未来のワークショップ 開催報告



2025年11月8日（土）10:30-13:30
鳥取市役所6階 会議室6-6~8

毎年異なる課題を設定し、鳥取市における取組を学ぶとともに、**高校生の視点から鳥取市へアイデア提案**を行うワークショップ。

今年は「インバウンド拡大」がテーマ

取組② 高校生ワークショップによる「入口」の形成

事前・事後アンケートの実施

事前アンケート

実施方法

事前アンケートは、高校生ワークショップの開催前に行われ、高校生がワークショップに参加する前に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事前アンケートの結果

事前アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加する前に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事前アンケートの結果

事前アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加する前に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事前アンケートの結果

事前アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加する前に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事後アンケート

実施方法

事後アンケートは、高校生ワークショップの開催後に行われ、高校生がワークショップに参加した後に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事後アンケートの結果

事後アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加した後に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事後アンケートの結果

事後アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加した後に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

事後アンケートの結果

事後アンケートの結果は、高校生がワークショップに参加した後に実施された。アンケートの結果は、ワークショップの開催後に分析された。

効果検証 1/2

参加した高校生13名（主に高校2年生）アンケート分析からは以下の顕著な傾向が見られた。

①課題認識の質的転換

事前調査：「多言語看板」といった物理的（ハード）な解決策が大半を占めた

事後調査：「体験価値の提供」といった、**戦略的（ソフト）な提言へと記述内容が深化**

②自己効力感の推移

「地域活性化に積極的に貢献できる」とする回答は、事前・事後ともに約31%（4名）

「地域課題への関心度」は100%（全員）が向上

「課題の巨大さと現在の自己能力の差異」を自覚する「健全な謙虚さ」が獲得された

効果検証 2/2

前ページの続き

③若者会議への接続

事後アンケート：参加者の約92%（12名）が将来的な地域活動への参加を希望
→その多くが活動の場として「若者会議」を具体的に想起

本ワークショップが単発の教育イベントに留まらず、若者会議への「心理的な参入障壁」を下げるオンボーディング（初期導入）として機能したことを示している。**「高校生段階からの関わりしろ（入口）」から「市外委員（出口）」へと至る、還流サイクルの母集団形成に寄与するものと考えられる。**

**提言 1 「高校生が考える輝く
未来のワークショップ
の継続開催」**

第3回 高校生が考える輝く未来のワークショップの開催

鳥取市内の高校生を対象とした「高校生が考える輝く未来のワークショップ」を継続開催することを提言する。**地域の魅力や課題に主体的に向き合う機会を定期的に提供する**ことで若者の地域理解が深まり、将来的なUターンや継続的関与につながると考える。

補足

左治木、他（2014）はフィールドワークを伴う活動により参加者の地域理解と愛着が高まると指摘しており、本ワークショップにもフィールドワークを取り入れるという意見も出ている。



**提言2 「高校生ワークショップ
専用ホームページ開設と
学習資料公開」**

第3回 高校生が考える輝く未来のワークショップの開催

鳥取市公式ウェブサイトには高校生向けワークショップのページを開設し、**学習履歴や成果を可視化できる環境を整備すること**を提言する。併せて市職員によるレクチャー資料を公開することで市内の高校における探求学習に寄与することも期待できる。

ねらい

- ・ 参加した学生の成果のアーカイブ
- ・ 単発のワークショップの効果を波及させる



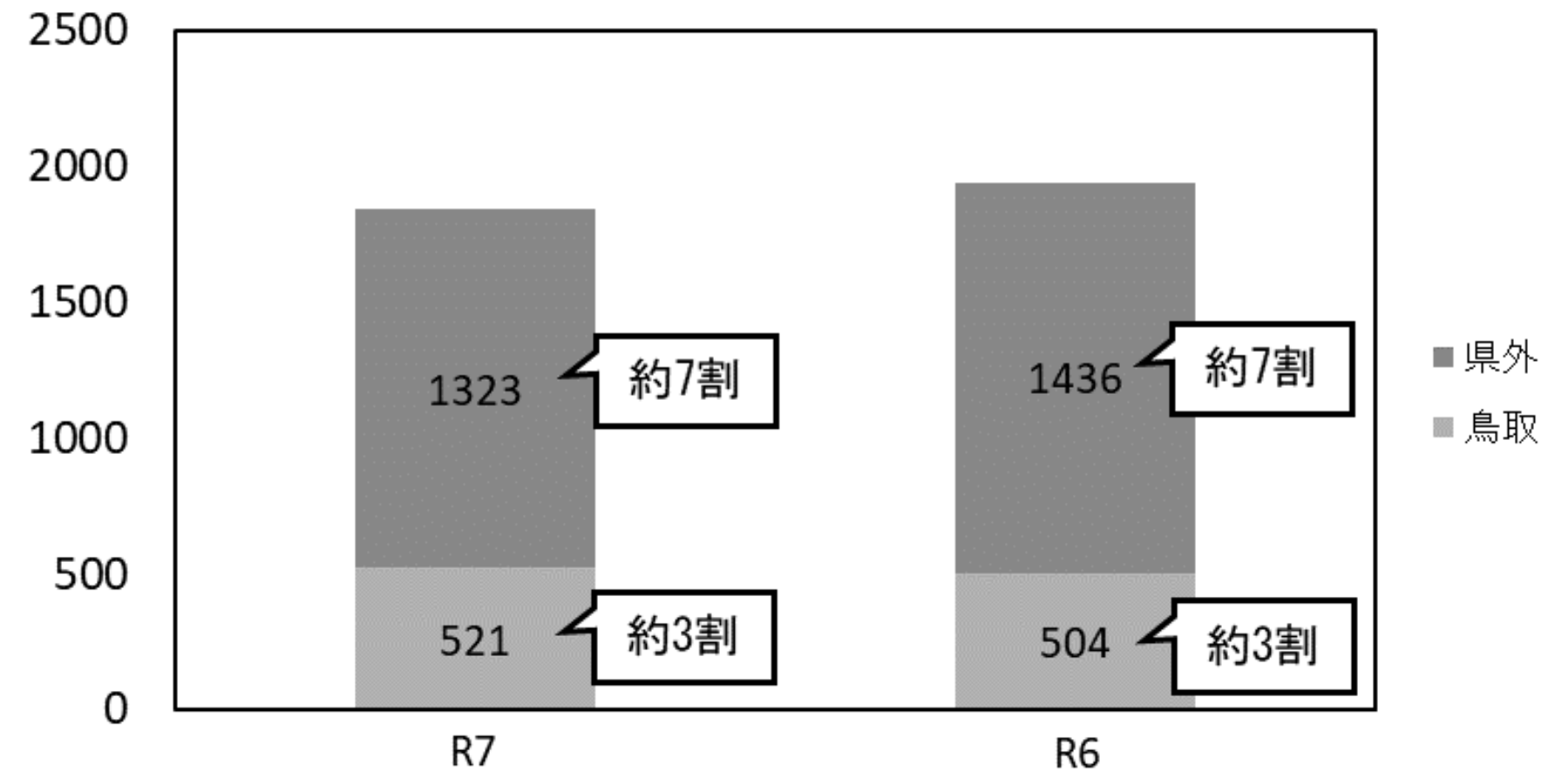
提言 3 「鳥取市を研究対象地域とした学生研究支援制度の創設」

県内高等学校卒業者の大学等進学状況

- ・令和7年、令和6年ともに鳥取県内の大学等への進学率は、**約3割程度**
- ・進学を機に県外の転出がみられる

大学進学後も鳥取市とのつながりの維持が重要

県内高等学校卒業者の大学・短大・高専進学状況



大学進学率の推移/高等学校課/とりネット/鳥取県公式サイト

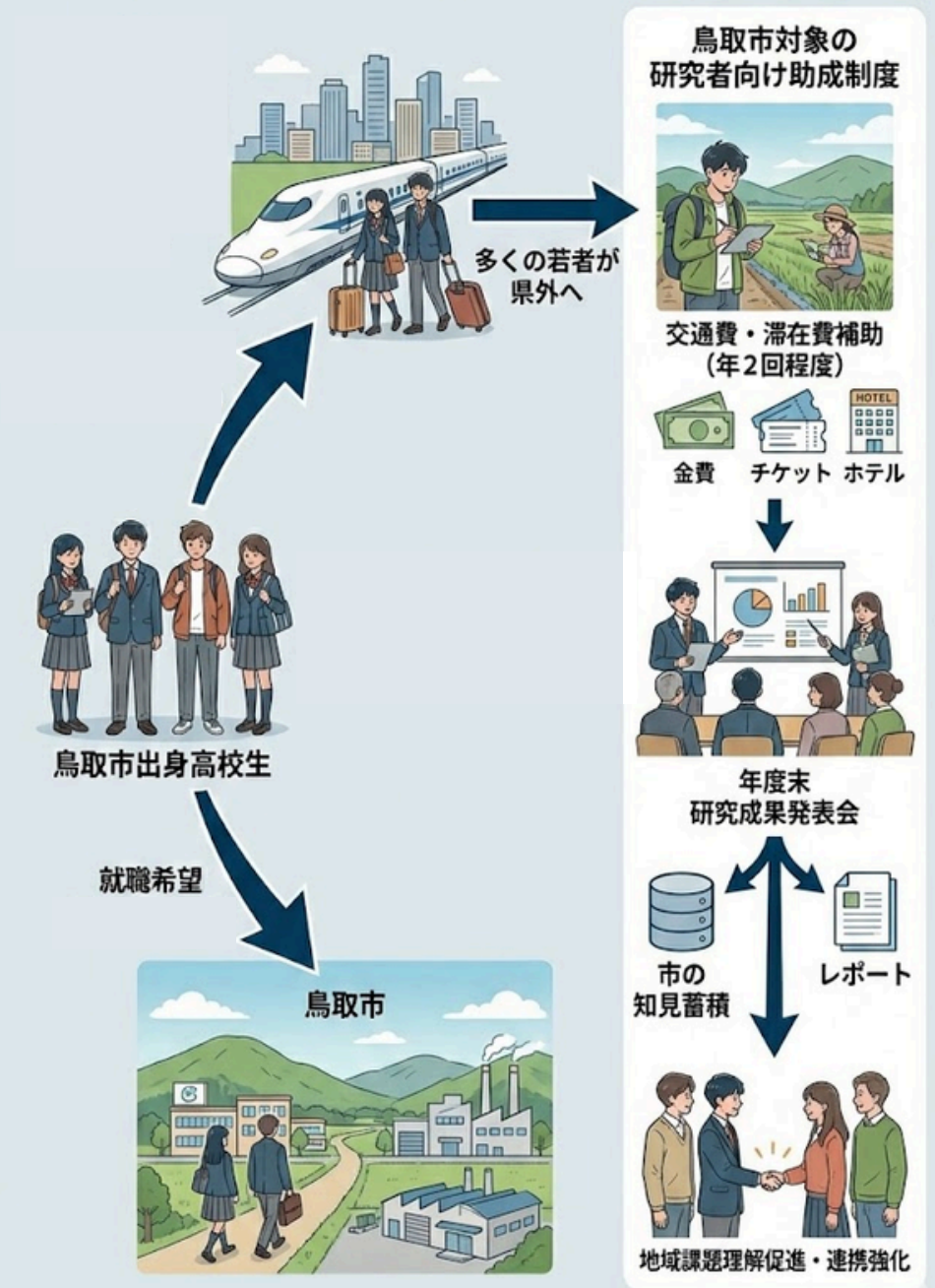
鳥取市を対象とした研究を行う学生への支援

鳥取市を対象に研究を行う学生への助成制度を創設し、交通費・滞在費を年2回程度補助することを提言する。年度末の成果発表を通じて**知見を市に蓄積し、地域課題の理解と今後起こり得る社会課題の解決に寄与**すると考える。

効果

市外に進学した大学生が進学後も鳥取市との関係を維持し、地域に還元する場を設ける。ゼミや学会等で研究内容を発表する場合大勢の人がそれを聞くことは鳥取市に関する知見の蓄積に寄与する。

鳥取市出身高校生の進路と助成制度の提言



目次

- 1 - はじめに
- 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- ▶ 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

05

安心・安全のまちづくり

今年度の活動報告と提言

05

「防災」に着目した取り組み

- ・一昨年の能登半島地震やこれから発生するといわれている南海トラフ地震など、自然災害の発生についてよく耳にするが、鳥取市では今後発生しうる災害に対してどのような取り組みが行われているのか気になった。
- ・自分自身も一人暮らしをしていて、地震が起きたときにどこに避難すればいいのか、どんな行動をとればいいのかかわからず、不安になった。

同じように一人暮らしをしている学生も同じ考えではないか。

→一人暮らしをする学生が多い鳥取市で安心して暮らせる環境づくりが地域への愛着形成へとつながり、鳥取市に住み続けたいと思えるようになるのではないか。

- ①防災意識に関するアンケート
- ②防災情報カードの作成

対 象：市内在住の大学生・専門学生・短期大学生・高校生

回答数：72

方 法：Googleフォームを用いたWebアンケート調査

期 間：令和7年12月2日～11日

調査事項：①若者の防災意識について

②災害時の備えや情報収集について

③鳥取市防災ポータルサイト・アプリの知名度

【とっとり若者地方創生会議】防災意識に関するアンケート

このフォームは、鳥取市在住の大学生・専門学生・高校生を対象にした意識調査です。

とっとり若者地方創生会議（若者会議）は、鳥取市が設置する「鳥取市内で暮らす、または、鳥取市内に通学・通勤をしたことがある若者で組織する会議」であり、毎年様々な活動や調査・研究を行い、市に政策提言しています。

この度、若者会議では令和7年度時点で鳥取市在住の大学生等対象に、「防災に関する意識調査」を実施します。

【詳細】

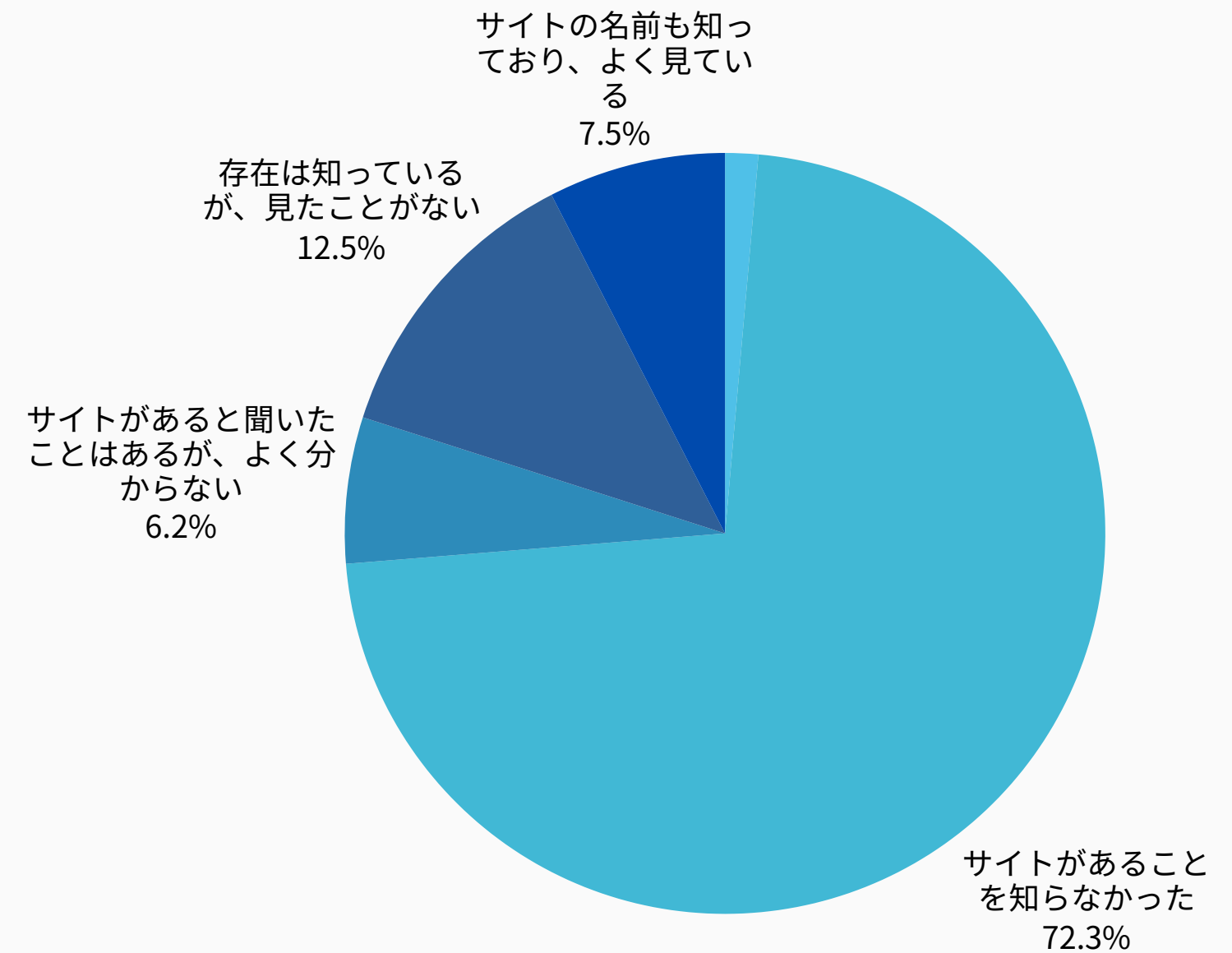
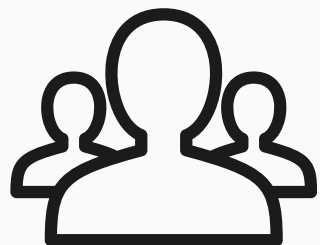
調査期間：12月2日から12月11日（10日間）

対象：鳥取市内に在住する大学生等

内容：防災意識に関する調査

質問：鳥取市や自治体の防災ポータルサイトについて当てはまるものを教えてください

そもそもサイトの**存在を**
知らなかった人が**7割以上!**



質問：鳥取市や自治体の防災ポータルサイトを知ったきっかけは何ですか？

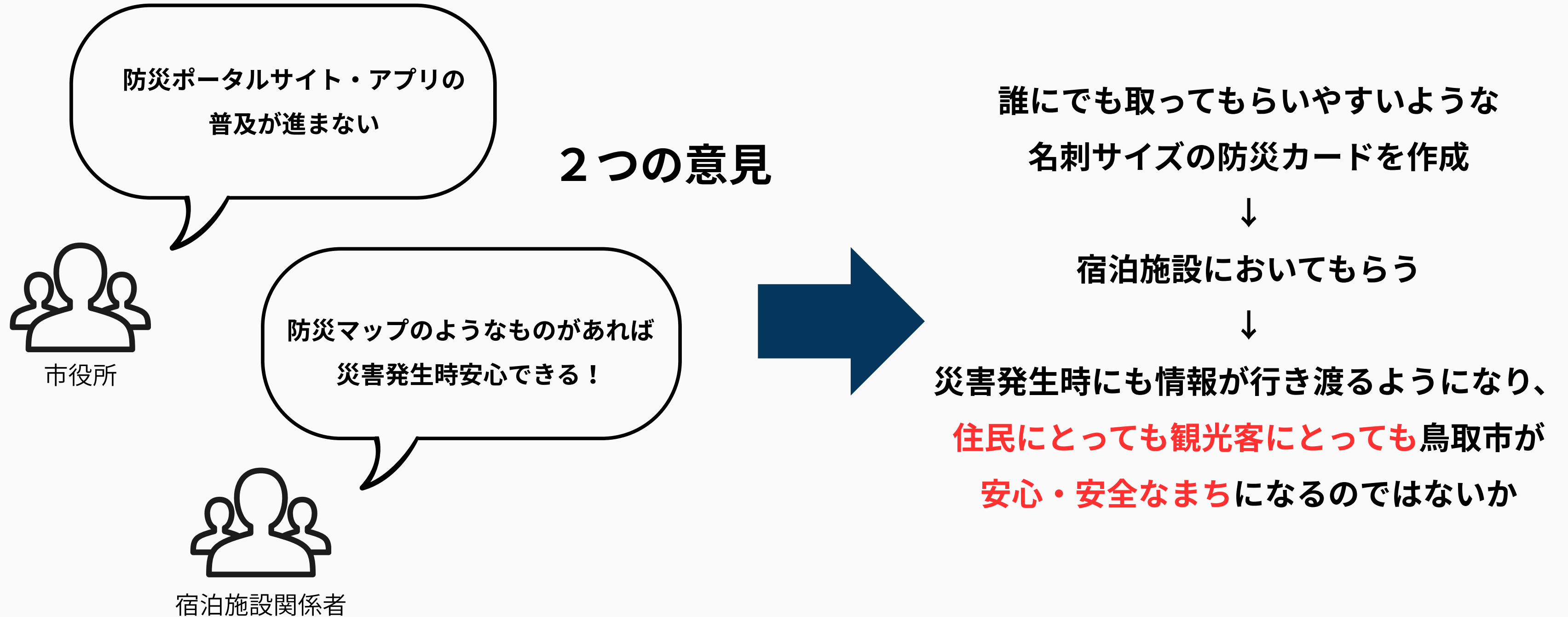
大学の授業・学校で調べることがあったため・授業で地域防災について調べているから
県のポスターや広報誌等・メディアの宣伝や公式LINEからの案内・サークル・回覧場
学祭の時にあった特設コーナー
家族が教えてくれた

質問：鳥取市や自治体の防災アプリ、または災害時に情報が届くアプリを知ったきっかけは何ですか？

大学入学時の資料
南海トラフや鳥取の断層などに危機感を持っていたため、対策を探していた時に見つけた

背景

- ・ 8月25日の鳥取市役所職員からの鳥取市の防災の取り組みに関するレクチャーで鳥取市が運営する**防災ポータルサイト・アプリの普及が進んでいない**ことを知った。
- ・ 委員が2025年9月に宮崎県えびの市へインターンに行った際、宿泊施設の関係者から「災害発生時にお客様への必要な情報をどのように伝達すべきかについて、不明確な部分がある。」
「**防災マップのようなものがあれば従業員側もお客様も安心できる**」という声を聞いた



～鳥取の“もしも”に備える～



防災

✓地震・津波情報 ✓避難場所 ✓指定河川洪水情報

鳥取市防災ポータルサイト



Check it here!

災害時の避難情報や河川・道路状況の確認、
日頃の防災対策にも使える鳥取市の公式サイトです。

とっとり若者地方創生会議→



Instagram

※このカードは、鳥取市に観光で訪れる方にも「鳥取市防災ポータルサイト」を知っていただくため、
とっとり若者地方創生会議が作成し、鳥取市内の宿泊施設等へ配布しているものです。

提言 1 「アクセス手段の増加による 認知網の拡大」

アンケートの結果

- 関心がある、どちらかといえば関心がある・・・約80%
 - 防災ポータルサイト・アプリを知らない人・・・どちらも約70%
- 関心が高い人にも情報が届いていない
- ポータルサイトを知ったきっかけが**大学での授業やイベント**などが多数
 - アプリをダウンロードしている人は災害時の危機管理に対する意識が高い

宿泊施設の関係者の意見

- 観光客から防災に関する質問を受け一方で、正確な情報を十分に伝えることが難しい

- **防災ポータルサイトの普及**
- **宿泊施設や観光拠点での正確な情報の提供**
- **観光客が鳥取市の防災情報にアクセスできる仕組み**
- **進学を機に鳥取へ移住してきた若者への災害発生時の不安軽減**

◎鳥取市防災ポータルサイトへの導入方法の増加

「防災情報カードへQRコードの掲載」

名刺サイズにして、手に取りやすくする

「観光パンフレットへのQRコードの掲載」

観光客が手に取るものに掲載することで、観光客がポータルサイトを知る機会を増加させる

情報カードの配布・設置場所

- **市内大学・専門学校**

→大学でポータルサイト・アプリを知った人が多い事を活かして、より大学内での情報発信を強化することで周知が進み、普及につながる

- **宿泊施設や鳥取砂丘や鳥取城跡などの観光拠点**

→観光客を中心とした利用者が、災害時や平常時に必要な防災情報へ容易にアクセスできる環境を整備

鳥取市への効果

- 宿泊施設職員の負担軽減
- 防災情報を正確に伝えられる
- 防災への意識が低い学生に対しても情報発信できる
- 行政の防災広報コストの効率化

観光客への効果

- 安心感の向上
- 観光客が手軽に情報を入手できる

目次

- 1 - はじめに
- 2 - 明治大学の学生との交流（活動報告）
- 3 - インスタグラムでの発信（活動報告 & 提言）
- 4 - 関係人口の創出（活動報告 & 提言）
- 5 - 安心・安全のまちづくり（活動報告 & 提言）
- ▶ 6 - 魅力的なシティプロモーション（活動報告 & 提言）

06

魅力的なシティプロモーション

今年度の活動報告と提言

06

背景

若者会議では今年度よりオンラインでの活動を中心とする「市外委員」4名が活動している。

オンラインであるため**調査を中心とした活動を展開**することとした。(但し、関係人口の創出の取組も兼任している市外委員もいるため「市外委員＝調査活動に限られる」訳ではない。)

調査の対象には「シティプロモーション」を軸として、委員が持つネットワーク（若者世代、鳥取市に限らず広域）を活かした調査を実施した。

定義と取組の整理

大石（2023）によると、「推し」という言葉が広く一般化したのは2010年前後とされており、その背景にはアイドル文化における「一押しメンバー」や「推しメン」という用法の浸透があるとされる。一方で、モーニング娘。ファンの中で使われ始めたという説も指摘されており、その起源には複数の見解が存在する。**若者会議では特定の人物・キャラクター・作品などに対して、強い好意や共感を抱き、受動的な「好き」を超えて、能動的に応援・支持・行動を行ってしまう対象のことを「推し」と定義することとする。**

魅力的なシティプロモーションに向けた調査①

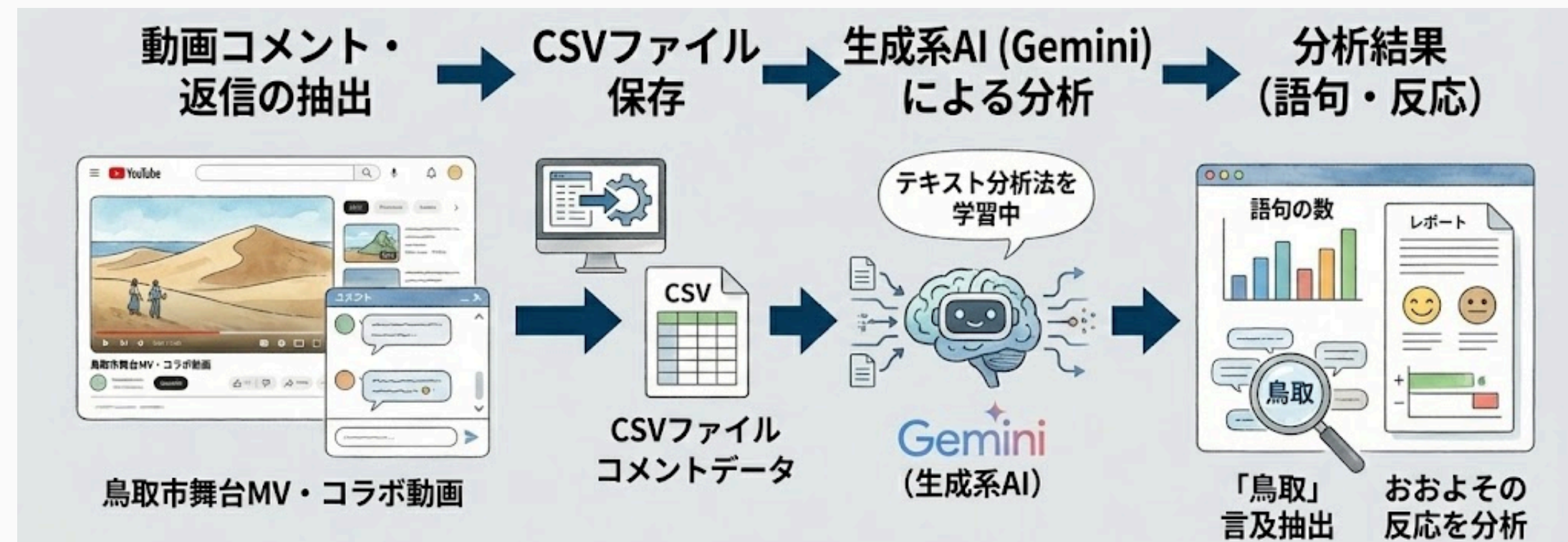
鳥取市による過去のシティプロモーションに対する反応調査（公表されているデータを利用）

魅力的なシティプロモーションに向けた調査②

若者のネットワークを活かした「推し」に関する意識調査（若者会議による調査）

鳥取市によるインフルエンサーコラボに対する若者反応

鳥取市を舞台に撮影されたMVや鳥取市コラボで作成された動画（YouTube）のコメントや返信を抽出し、CSVファイルとしてダウンロードし、生成系AIであるGeminiを用いてテキスト分析を実施した。AIには定性分析の手法を学習させ、**語句の数や「鳥取」への言及の抽出を行い、おおよその反応を分析**した。



2023年公開 新しい学校のリーダーズ。 ATARASHII GAKKO! - 青春を切り裂く波動 (Official Music Video)



YouTube · ATARASHII GAKKO! - 新しい学校のリーダーズ

ATARASHII GAKKO! - SEISHUN WO KIRISAKU HADO
(Official Music Video)

【青春を切り裂く波動 / SEISHUN WO KIRISAKU HADO】 Music:
松隈ケンタ Lyric: 松隈ケンタ Choreography: 新しい学校のリーダ...
視聴回数: 445.8万回 · 2023年5月19日

総コメント数: 2,935 件 鳥取への言及数: 93 件 (言及率: 約3.2%)

① 地元・出身者の「驚き」と「誇り」

「まさかのMVのロケ地が実家の近くでびっくりした。鳥取に来てくれてありがとう」(91いいね)

「鳥取県米子市出身だけど、**人生で初めて『鳥取市に行ってみたいかも』**と思いました」(21いいね)

「ただ、日常の人気も少ない地元で4人のダンスで舞台に仕上がってる。静な鳥取が動に満ちてるわ！」(115いいね)

② ファンによる「聖地巡礼」の意欲

「鳥取から応援してます！とりあえず聖地巡礼すべくウロウロしてみますねー」(3いいね)

「香港人だけど、**今度日本旅行だったら、絶対鳥取市へ行きます**🤘🤘🤘」(3いいね) ※英語

③ ロケ地としてのポテンシャル評価

「**鳥取は人が居ないのでmv撮り放題**ですよ、アーティストの皆さん。来て下さいね。」(17いいね)

「鳥取の日常空間で踊り狂う様が最高、、、」(119いいね)

2022年公開 ぼっちゃん君(鳥取市立桜ヶ丘中学校 応援部部長)

①攻めろ！泣き虫応援団長【ロバート秋山のクリエイターズ・ファイル#85】



ぼっちゃん君(鳥取市立桜ヶ丘中学校 応援部部長)①攻めろ！泣き虫応援...

視聴回数: 205万回・2022年8月24日

YouTube > ロバート秋山の「クリエイターズ・ファイル」

総コメント数: 2,419件 鳥取への言及数: 117件 (言及率: 約4.7%)

① 地元・出身者の「強烈なノスタルジー」

「桜ヶ丘中学校出身です😄校舎とか通学路とか狭い部室とか懐かしすぎていろんな思い出が一気に蘇りました。」(84いいね)

「地元民としては嬉しい限りです🥹🥹🥹」(31いいね)

「これを自分の地元でやってるのはおもしろすぎる笑」(25いいね)

② 行政・市長への「神対応」評価

「まさかと思って調べてみたら鳥取市長本物だわ」(375いいね)

「鳥取市民の温かさよ」(226いいね)

③ リアルな広報効果・反響

「鳥取市を絡めた壮大なドキュメントすぎる」(194いいね)

「10月の鳥取市の市報の表紙になってました(笑)」(120いいね)

2024年公開 CHARMY♥K(チャーミー♥ケイ / イリュージョニスト)

①鳥取市長を瞬間移動させる?!【ロバート秋山のクリエイターズ・ファイル#99】



CHARMY♥K(チャーミー♥ケイ / イリュージョニスト)①鳥取市長を ...

視聴回数: 33.5万回・2024年7月20日

YouTube > ロバート秋山の「クリエイターズ・ファイル」

総コメント数: 638件 鳥取への言及数: 70件 (言及率: 約11.0%)

① 市長（行政トップ）への熱狂的な支持

「検索したらガチの鳥取市長で草」(705いいね)

「市長の認識が『ネクタイ黄色』しか無いのは草」(362いいね)

② 「秋山×鳥取市」というシリーズ自体がブランド化

「概要欄を観て、本当に鳥取の皆さんのご協力あってのこと過ぎて感動しました。」(298 いいね)

「鳥取県民としては(現在は関西在住)嬉しい限り🥹日本一高齢化社会の県鳥取の活性化を手伝って欲しい🥹」: 1 いいね

③ 「低予算」こそがエンタメになる

「一年かけた企画にしては低予算すぎる🥹」(953いいね)

「ROSE（アシスタント）の不必要さ本当好き」(837いいね)

コメント分析から浮かび上がった「3つの評価ポイント」

① 「何もない」を「強み」に変える協力体制

「鳥取は人が居ないのでMV撮り放題ですよ、来てくださいね」など、**地域の弱みとされている部分を強みとして活かしている点が評価**されている。

② 行政トップ（市長）の「神対応」

「検索したらガチの鳥取市長で草」「概要欄を観て、本当に鳥取の皆さんのご協力あってのこと過ぎて感動しました」など **「お堅い役所」のイメージを覆し**、クリエイターの無茶振りに全力で応える姿勢が、若者の好感度を高めている。

③ 地元民の「誇り（シビックプライド）」の喚起

「地元民としては嬉しい限りです」など自分の住む街が、憧れのアーティストや芸人に「選ばれた」という事実が郷土愛を強めている。

アンケート調査の実施

若者(18歳から30歳未満)と定義し、若者の推し活の実態を把握し、新たなシティプロモーションの参考にすべくアンケート調査を実施した。調査では、「推し」のために行っている活動(推し活)や「聖地」とされる場所の訪問の有無、「推し」と鳥取市のコラボ案などを質問した。

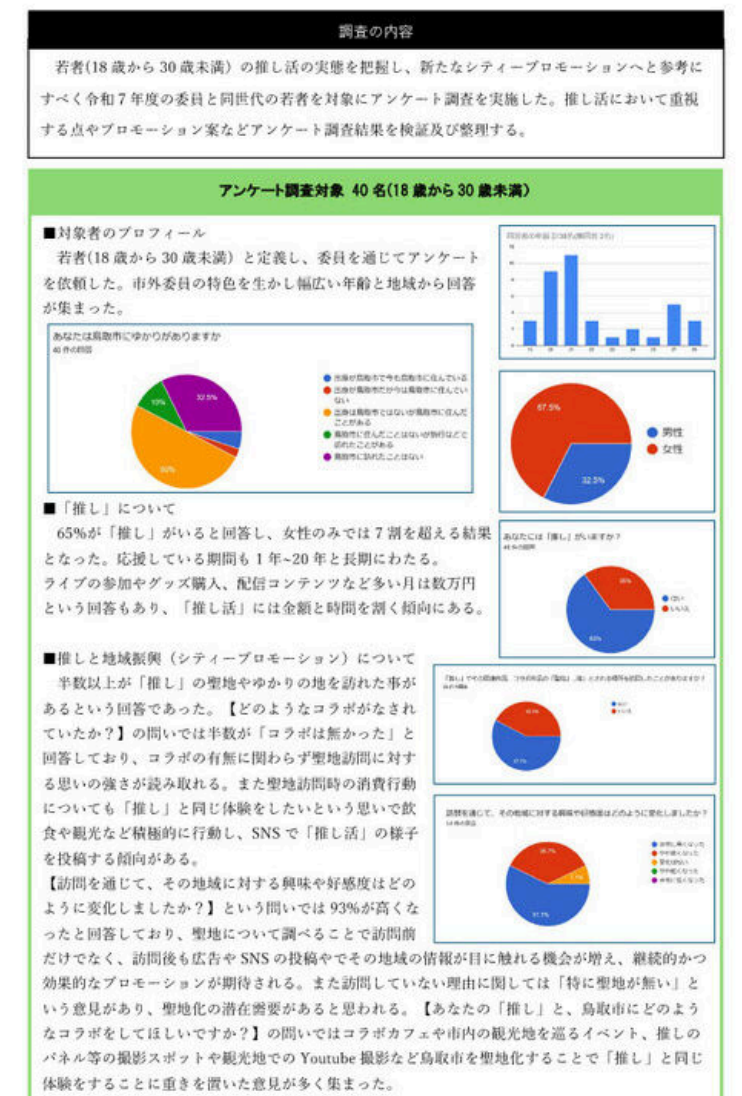
募集期間:2025年11月24日～12月31日

フォーム名:Google Forms

方法:委員経由で依頼、委員Instagram

回答数:40件

令和7年度 若者のネットワークを活かした「推し」に関する意識調査 概要版



アンケート結果から分かったこと

回答した若者40名（19才～28才）アンケート分析からは、以下の顕著な傾向が見られた。

第一に、消費行動における文脈価値の優位性である。聖地訪問者の消費行動を分析すると「推しがSNSで紹介していた紅茶（市販品）を購入した」や、「移動手段として自転車を利用し、風景を楽しんだ」といった記述が散見される。通常であれば観光資源となり得ない**「日常的な商品」や「移動そのもの」に対し、「推しに関わった」という固有の文脈が付与されることで、新たな経済価値が生じている**ことを意味する。

第二に、聖地訪問における経済波及効果である。地域振興の有無に関わらず聖地を訪れているため、特定のイベントや季節に左右されない来訪が見込め年間を通じた観光需要の平準化が予測される。また聖地訪問後に「インスタでその地域の情報が出てくるようになった」という記述があり、**継続的な宣伝が見込まれ、単発的な訪問に留まらないリピーターの確保**が期待される。

提言 1 「クリエイター誘致による シティプロモーションの推進」

提言1 クリエイター誘致によるシティプロモーションの推進

鳥取市を舞台とした動画調査から、日常風景の魅力や行政の柔軟な協力姿勢が高く評価されていることが明らかになった。今後もクリエイターとの連携を継続するとともに、一定の発信力を持つ制作者の市内滞在を支援する助成制度を創設することを提言する。

補足

- ・若者限定の補助（若いクリエイター支援としてのフォロー・投稿によって、大幅割引）
- ・知名度のあるクリエイターへの補助（広報効果が見込めるコンテンツへの製作費支援）
- ・効果を発揮したコンテンツの評価（一定数視聴回数を得たコンテンツに対する感謝状）

THANK YOU!

ありがとうございました!